夕刊
十二月二十日　發行
（日曜祭日ハ翌日休刊）
東京振替口座一〇八・五六五番

歳末挿話

宇佐美敏

時雨空に渡り鳥が鳴んでゆく。

年の暮れとなると人の移動があわただしく感じられて、送年の忙しさと迎春の希望とでいつも雀然としてまゝに越年をしてしまふ。

故郷を離れて出稼ぎに來てゐる自分達には、そうした人の交錯した感情をはんの少しばかり感じるだけで自分の生活への設計で一杯不閑なのだ。

年の瀬も押迫つた或る日曇日——。

薄い大陽を浴びながら街を歩く。とあゝ舗道の一隅にかなりの人だかりがあって、私もそこに吸ひつけられる。それは人の吉凶を占ふ五十歳位の易者が集つた聽衆に運命的な警言をしてゐた。丁度、それは人生の疲勞者を思わせる一人の老いた男がその前に立つて言われてゐた。

『あなたの本年の運勢は苦闘の連續だつた』

だから、だからこそその苦闘から逃れたければこそその——現存ちやないか。と喜悅して生きてゆく老人の顔が言つてゐる。

『でも、それは坂の頂上に昇るための苦闘であつて、これからは下り坂だからもう安心してもいゝでせう』

さうかしら。それは本當からかしら。その瞳が喜びもまたでの生活が教へてくれた。人生に並木路ばかりてないと人は言ふけど、そゝがれる視線をまぶしそうに避けて、まだ來もしない運命の安心をも受けてゐるやうに童見じみた表態だつた。

『來年の二月か、三月はきつと大きな喜びごとがあるから。それまでは一心に働きなさい』

稼ぐ追付く貧乏なしで農閑期を街に、鑛山に働きに來てゐる人達は、そこで働いたいくばくかの金に懷をあたゝめて三月末になれば故郷へ歸つて耕作にかゝるだらう。

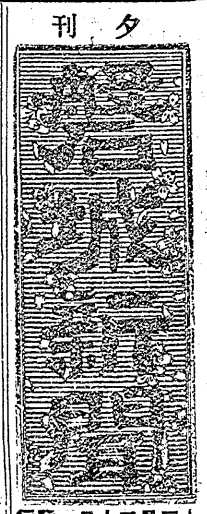
何もなくとも故郷へ——歸つて行く日が大きな喜びでなくて、今の社會はそれ以上の喜びを自負できるだらうか。その老人は胸に思ひ當ることがあるらしく、大きくうなづくと滿足さうに料金も拂つて人垣の向ふに消えて行つた。

佛教の教へる苦の娑婆でかうした瞬間の未來に對する……現世の苦しみもいつの日か喜びとなりて歸つてくると云ふ希望一つなぐおきらめ——それに滿足し喜悅して生きてゆく老人の姿が、私にはたまらなくいとほしく思われて譯もなく嬉しかつた。

生きることの苦しさは生活に慣れると生活が教へてくれた。でも生きることの喜びもまたでの生活が教へてくれた。人生に並木路ばかりてないと人は言ふけど、私は荆の路ばかり歩いて來たやうな氣がする。その如わり並木路には咲いてゐないやうな美しい花をみて來たかも知れない。よしやそれが荆の途であつたにもせよ、私は私の途を行かねばならない。

入間最高の賢者と云われたキリストでさへ十字架を背負つて歩いたことを思へば。

夕刊



新年文藝募集

時局に因めるもの制限なし

講談

振袖横町

須藤鐘一

（103）

荻原萬象畫

浪人召抱へ（一）

柳澤美濃守は、翌日お城から歸つて來て、おさめか達にて日本橋通二丁目なる菱屋孫三郎と云ふ者が萬事を取扱ひ、酒屋、材木屋より五割の運上をとり、所々料理屋、煮賣渡世に至る迄も同樣に取立てた。

又、空地を開墾し貸附なとして敷金を取入れたが、なか〳〵そんな事ぐらひでは足りるものではなかつた。

そこで御用金銀を吹替へさせて古金銀と引替て取上げ、又銅錢を是迄より小形にし、大錢をこしらへて、是一枚で十文に通用すること觸らしめたが、これが一向に通用しないので後に取止めになつてしまつた。

この事は柳澤の失敗であつた。

御譜代なぞのうちから非難の聲が洩れて來た。

機を見るには敏な彼であつた。

これは少しやり過ぎたと思つたが、もう間に逢はなかつた。

そこで譜代の輩などが我を憎みこの機にとばかり不意の危難に逢はんやも計り難い、用心せずには叶はじ——。是迄抱へた家來は智惠者であるが、武術を以て召抱へた者は一人もなく、何ぼど、今の我が威勢を以て尋ねれば一藝に秀でたる者を見除れ出すもさて困難のことでもあるまと。その腹心の家臣に言付け處々方々を尋ねさせたすると　遠々遠近の國より、大床屋の次男坊とか、或は郷士などそれ〳〵に武藝を言ひ立てて、仕官を願んで來た。

そのうちに御家人——將軍家の御徒士、坪井源兵衛と云ふ者の次男にて、源次郎と云ふ者が水泳に熟達として申し出た。

この申を、瀧口平太夫が美濃守に云ふと

『何藝にせよ、一流の達人ならば物の役に立つであらう……。試して見て召抱へるやうに——』

との命令である。

そこで、翌日平太夫は船を仕立てて、源次郎を伴ひ品川沖へと漕ぎだした。

『殿の仰せにて、貴殿の腕前を見るとの事でござる——熟達せられることは存ずるが御免』

と言ふと、源次郎も

『承知仕りました。それは御免』

と云つたかと思ふと、ザンブとばかりに海へ飛び込んだ。

拔手を切つて見事な遊泳ぶりである——。

見る〳〵姿は見えなくなつたかと思ふと、ぱつかりと船から小半町もへだつた所に姿を現はした。

船戻りのかと見てゐる間に、船ばたまで來て、ぱつと掴なものであつた。

をくゝつて又姿をあらはした。

かくして船の廻りを泳ぎ廻ること約一刻、それでも少しく疲れた樣子は見えなかつた。水府流の遊泳は見事

他店で御氣に召さぬ時に是非一度

——常磐線東京仙臺間であらゆるクリーニング機械設備の揃つてゐる……

純ドライクリーニング　田町　白榮舍ランドリー

西洋洗濯

正直なる仕事と優秀なる技術を望む方は

設備平市第一の

白榮舍ランドリー

平驛前大通り（シンガー）

ミシン

世界代表　シンガーミシン

日本代表　アサヒミシン

ニッポンミシン

コントロール

◎月賦販賣　◎無料教授

冬の味覺

とんかつ專門の店

興部の春を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します

▼出前は迅速に御つとめ致します

平市仲田町（電話四六五）

かの家

串おでん

芋　鱈　お多幸

大阪名物

暫らく休ませて戴きましたが季節になりましたので、又た始めましたから御賞味を御願いたします。

田町末廣となり

お多幸

產婦人科一門專

平市南町

根本醫院

（入院隨時）　電話三四番

國は二ッポン・魚は凍魚

日本水産特約

卸小賣　平製氷會社

（電三八・三六）

タヒ　甘鯛

エビ　マナ鰹

白魚　帆立貝柱

冷カツノコ　ウニ貝燒

ヒラマル凍魚

平代理店　四丁目　魚屋

（電三八番）

配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

耳鼻咽喉科專門

平市南町一六番地

大和田醫院

（入院隨意　病室完備）　電一七〇番

來れ產業戰線へ

日立製作所　日立工場　工員募集

募集人員　見習工一〇〇名　運搬夫三〇名　男事務員二〇名　女事務員二〇名

資格　見習工滿16歲—30歲　男事務員滿16—35歲　高女、農卒、乙商卒、中等學校中退者　女事務員　滿25歲以下　高女、實科高女卒　運搬夫　滿18歲—40歲

給料　見習工　滿20歲—32圓　（鋳工見習ハ45圓以上）　三ヶ月後37圓以上　男事務員滿20歲（高卒）—37圓（同）42圓以上　女事務員高女卒29圓（同）28圓以上　實科卒25、26圓（同）28圓以上　運搬夫40圓（同）45圓以上

其他年四回ノ昇給及二回ノ賞與アリ

宿舍　男子ニハ下宿ヲ斡旋シマス、三食付一ヶ月15—16圓位　女子ニハ寄宿舍アリ、三食付一ヶ月10圓

旅費支給　受驗者ニハ銓衡地迄ノ往復旅費及辨當料　合格者ニハ赴任旅費支給

申込方法　提出書類　自筆履歴書一通　簡單ナ銓衡アリ　銓衡　當日採否決定

銓衡日時及場所　十二月廿一日　平職業紹介所

平職業紹介所

募集

永續者には將來の保證を致します

ボーイさん
◇堅實な營業方針の客樣は當地一流の方々です
◇色々な方に接することが儀禮の實際に學び　社交成功の糸口ともなります
サロンのお

調理見習婦人
◆評定あるサロンの調理法を御傳授いたします
◆見習ひとして調理場に來る御婦人に限る　御勤務出

◆14歲以上30歲迄の健康な方
◆3年以上勤續出來る方
◆親權者若くは本人御來談下さい

平市銀座街　サロン　電話592

室內用竹レール

創始

高尚優美　無音低廉　防中防腐製品

國華竹レール

一番美レイ一番打付ケヨイ音セヌ

實用　第二一四二八八

新案　一九三六四七號

京都府園部町　國華竹レール

第一工場　全綾部

全宮津町　全第三工場

全第二工場

東北六縣一手特約店

合資會社　平銅鐵機械商會

代表者　井尻七三郎

國華竹レール部

一縣一市卸特約店ヲ契約

一縣一町一村ニ小賣店特約店ヲ置ム

詳細ハ拙社御照會ニヨリ社員見本持參

御相談ニ可應候

報恩感謝の發露のみ

金成氏の壽像除幕贈呈式を前に

發起人前田清美醫師談

既報、前貴族院議員金成通氏から被つた積年の恩顧を多とする關係有志によつて建設された同氏の壽像除幕贈呈式は二十五日午前十時から錦村の同氏邸内に於て行はれるが右記念事業の經過に就て發起人の一人なる同町醫師前田清美氏は語る

――この壽像は先生長年の殊寵推挽に感奮した吾々志を同じうするものがその親身も及ばぬ恩顧に酬ゆる微衷から、先生が過去に於て政界實業界乃至育英方面に殘された偉大なる足跡を記念すると共に、晩年の幾久しからん事を祈念祝福する爲計劃したのを今年適々先生の還暦を好機として之を實行に移し各自が競ふて醵出した資金によつて今日の完成を見たもので後進の感激から迸りでた動機の至純と事業の順調なる推移とに顧みて些か他に誇負するに足るものがあると信ずる。像は近代的の尖端を行く東京資生堂の立体寫眞を基本とし、台石は端麗强靭、斷じて風水火震の侵潤を受けぬ大阪産の通稱議院石を用ひ、名工の名ある平潟町の福富石材店主が久しきに亘り彫心鏤骨の苦心を重ねて作り上げたものであり、更に胸台裏の銅板に至つては先生と傾蓋の交游深い河原田文相の撰文で先生の閲歷人格に對して現日本文教府の總元締が吐露した滿幅の感讃は一々吾人の首肯し餘りある珠玉の文字で一讀先生を景慕するの念更に

な壽像の完成を祝福する日の近づいた事は寔に喜びに堪へない。云々

――この壽像は先生長年の殊寵推挽に感奮した吾々志を同じうするものがその親身も及ばぬ恩顧に酬ゆる微衷から、先生が過去に於て政界實業界乃至育英方面に殘された偉大なる足跡を記念すると共に、晩年の幾久しからん事を祈念祝福する爲計劃したのを今年適々先生の還暦を好機として之を實行に移し各自が競ふて醵出した資金によつて今日の完成を見たもので後進の感激から迸りでた動機の至純と事業の順調なる推移とに顧みて些か他に誇負するに足るものがあると信ずる。像は近代的の尖端を行く東京資生堂の立体寫眞を基本とし、台石は端麗强靭、斷じて風水火震の侵潤を受けぬ大阪産の通稱議院石を用ひ、名工の名ある平潟町の福富石材店主が久しきに亘り彫心鏤骨の苦心を重ねて作り上げたものであり、更に胸台裏の銅板に至つては先生と傾蓋の交游深い河原田文相の撰文で先生の閲歷人格に對して現日本文教府の總元締が吐露した滿幅の感讃は一々吾人の首肯し餘りある珠玉の文字で一讀先生を景慕するの念更に

年賀狀頼る閑散

平局の今第一日目

帥走も愈よあすから下旬を相し過般來新築工事中であつた郡山地方專賣局平出張所は此程愈よ竣功、來る廿六日午後一時から開所式を擧行するが同時に當日から便宜預つて置いた分二三百枚に過ぎず、それも大部分は前線行きで、內地相互間の分としては今の處全く入格に對して現日本文教府の總元締が吐露した滿幅の感讃は一々吾人の首肯し餘りある珠玉の文字で一讀先生を景慕するの念更に

郡專平出張所開廳式　平署東側に地

休み前の試練！

市內各中等校學期考査で

師走の夜寒と闘ふ各生徒

市內各中等學校生徒は緊張ラスの如きは全級五十名の事變下乍ら樂しい冬休みを前に今年最終の試練として目下第二學期の試驗に師走の夜寒と闘つてこゝを必殺奮發せしめてゐる程で、同校の勉强中で各校が時局柄校及び各父兄の關心は、今負けず劣らずの指導督勵に學期末に現はるゝこの至寶何れもその成績向上を期待的クラスの成績如何に集中されてゐる中にも、磐中のされてゐると比較的優秀生から成る某ク

三井報恩會からの助成金も漸く決る

隣保館事業すゝむ

屢報、市の隣保館は工費一一時望み薄と見られてゐた三萬五千圓、市內堀江工業會三井報恩會からの助成金も目下着々工事伊藤市助役が一昨日上京折衝の結果漸く交渉されることに決定、これで惱みの財源もどうやら目鼻がついた

防犯べからず集

配布

あすからの週間を前に

徹底を期す平署當局

平署では明二十一日からの月に配布する防犯週間を前にし既報の如く今二十日正午から聚樂館で「目と耳」からこれが趣旨を強調、更に「防げ犯罪銃後の誇り」「守れ國策、銃後國民の奉公」等の標語を掲げ此程愈よ竣功、來る廿六日午後一時から開所式を擧行するが同時に當日犯罪防止の心得集を印刷各

○九月十八日の價格を超ゑ品物を買買すると違反
○物資不足の買占め賣惜みは違反
○運賃や勞働賃は九月十八日、家賃、地代は昨年八月四日現在より引上げ借り貸しが禁ぜらる
○販賣品には正札を附し又は掲示して定められた値段(公定價格)より引上げても違反
○米、木炭、石炭、酒、味噌其の他生活必需品等凡て土地によつて販賣價格が定つて居る
○闇取引は違反ですが知らず〳〵に違反に問はれても規則は知らざるの故を以て免る事が出來ない
○御互が戰線將兵の勞苦を偲び第一線に立つた氣持で各自に行つてゐる豫防檢査

十萬圓計上

六號國道豫算決る

既報、繼續事業として豫算成立を目指して青沼市長は復活を目指して青沼市長はさきに關係方面へ單年度事業としての陳情書を提出し更に十九日上京內務省土木局に陳情したところ老市長の熱意酬いられ單年度事業として一般道路豫算から十萬圓をこれにあてることに決定した旨內示されたと

第一の出發

近く市內で上映計劃

定期年金周知映畫

（下）

それから少したつて邦夫にも果敢ない死であつた。

×　×　×

邦夫は父の死後醫院を土地會社に賣り父の意志通りおしまへの借金を返し自分たちは裸一貫になつて働かうと決心した。大學を諦めるといふのは父の意志だが自分が元氣で母や妹のために働くことは、きつと父が喜んでくれるに違ひないと思つたのだ。其處へ姉の紀子が來て『是非受取つて貰ひ度いものがある』と言つて定期年金の證書を出した。

『お父樣はあゝ言つた性分でお金には恬淡な方だシ萬一のことがあつたらと思つてあなたが中學へ行つて居つた時分コツソリ加入して置いたのよ……この四月から月々五十圓宛のお金が支給されることになつてゐるのの歸宅とされ遠ひにある患者からの迎ひが來た時は可成酔つて居たが一寸行つて復活を目指して青沼市長はさきに關係方面へ單年度事業としての陳情書を提出し更に十九日上京內務省土木局に陳情したところ老市長の熱意酬いられ單年度事業として一般道路豫算から十萬圓をこれにあてることに決定した旨內示されたと

腦溢血――それはあまりの歸宅とされ遠ひにある患者からの迎ひが來た時は可成酔つて居たが一寸行つて復活を目指して青沼市長はさきに關係方面へ單年度事業としての陳情書を提出し更に十九日上京內務省土木局に陳情したところ老市長の熱意酬いられ單年度事業として一般道路豫算から十萬圓をこれにあてることに決定した旨內示されたと

邦夫は父の死後醫院を土地會社に賣り父の意志通りおしまへの借金を返し自分たちは裸一貫になつて働かうと決心した。大學を諦めるといふのは父の意志だが自分が元氣で母や妹のために働くことは、きつと父が喜んでくれるに違ひないと思つたのだ。其處へ姉の紀子が來て『是非受取つて貰ひ度いものがある』と言つて定期年金の證書を出した。

『お父樣はあゝ言つた性分でお金には恬淡な方だシ萬一のことがあつたらと思つてあなたが中學へ行つて居つた時分コツソリ加入して置いたのよ……この四月から月々五十圓宛のお金が支給されることになつてゐるのの歸宅とされ遠ひにある患者からの迎ひが來た時は可成酔つて居たが一寸行つて復活を目指して青沼市長はさきに關係方面へ單年度事業としての陳情書を提出し更に十九日上京內務省土木局に陳情したところ老市長の熱意酬いられ單年度事業として一般道路豫算から十萬圓をこれにあてることに決定した旨內示されたと

滿洲現地開拓視察報告

福島縣代表　志賀ナカ

〔三〕

自然の防波堤を成す大草小草の二島より港內は如何なる暴風巨浪にも極めて波靜かで、滿干の差も至つて少く大港湾としての條件を世に比類なしと云ふに十分備へてゐるとの事である。本港は日露戰爭及び大正七年シベリヤ出兵當時我が大艦隊が數ケ月間錨をおろした事もあり、滿洲事變を契機として、滿鐵の手により大港計畫が進められ、滿洲の表玄

關として堂々たる現在の威容を整へて。

眼界の限り建並ぶ滿鐵官舎を眺め乍らバスは大港線の可成りの山道を登る。

上下左右に內臟の位置も變物凄い震動に一同默々と

日露戰爭及び大正七年シベリヤ出兵當時我が大艦隊が數ケ月間錨をおろした事もあり、滿洲事變を契機として、滿鐵の手により大港計畫が進められ、滿洲の表玄

朝鮮最北端の港雄基は北七月ソ軍の不法越境から所動に對し、殘る女は家庭を鮮三港の一、日ソ國境を距離僅數峰事件として世界の守り、必死となつて炊ぎ出つ專二十四粁又世界三大漁視聽を集めた此の地は、國を前線に送り一人として場たる沿海洲に近く、之等們港を隔てゝ指呼の間に眺引揚なかつた事は大和撫子められる。當時皇軍は優勢の確固たる精神と、燃ゆる

なる敵の機械化大部隊と戰ひ、よくその困苦を忍び肉彈身奉公の權化とも謂はれる、お蔭で此所に住む內地人の何倍かの半島人も一致

花柳病撲滅を期し接客業者を檢診

明春四月早々に着手

縣衛生課では花柳病の徹底的撲滅を期し明春四月早々より縣下藝妓、娼妓、酌婦、女給等の接客業者二千五百餘名に對し花柳病有無檢査を一齊に行ふ事になつたが從來接客業者の保健組合が各自に行つてゐる豫防檢査

おう待望の十割

此程開かれた市會で一躍十割を可決された市役所吏員並に小學校教員の年末賞與は愈よこの二十四日頃一齊にバラ撒かれることになり「これでどうやら人並に……」と何れもホク〳〵顏、青沼市長さん、伊藤助役さんの分は明後二十二日の市會で決る筈である。

また職業紹介所員にも近く支給されるが縣廳あたりの空氣から見て最高先づ十五割といふところか？

――市吏員、敎員に賞與――

電話加入者に聽く

平局業務刷新に鋭意

平郵便局では業務の刷新改良調査の上決定明秋その第一回表彰式を行ふ豫定であり善に資する爲、時折通信利用關係者の懇談會等を催し相互の疏通を圖つてゐるが特に年末匆忙季等に在つて左右の故障を生じ易き電話方面に就て考慮する處あり電話機の保守並に事業運行上の改善に資するため

電話の具合は如何、よく故障は起らぬか、機械の移轉工事に就て不都合の點ないか、機械修理の際に於ける試驗係の應答や修理服務振りに不滿や希望の點、電池掃除、機械點檢の際に同上、其他意見希望の各項目に亘り各加入者に照會を發し腹藏なき回答の蒐集に着手した

町日雇加藤リヲ(三六)同町上町網職刈込吉松(三〇)下町漁夫千坂善治(三五)の五名は十八日午後一時頃上野台方で花賭博開張中を平署に檢擧

銃後の亀鑑を表彰

第一回は明秋

時局に鑑み此程設けられた本縣銃後援表彰規程は傷病軍人又はその家族、軍人遺家族で他の模範たるもの、銃後援に關し功績顯著なるもの又は銃後援に關する個人或は團体の善行等を表彰するもので

毎年八月末日までに鉾衛市町村長から知事へ內申、慎

辭令

夏井村　大和田政保　任方面委員

平市慶弔錄

△出生　紺屋町七石橋德三郎氏二男孝之君

▲死亡　五丁目二七星野愛子さん(三〇)

二十一日

【小名浜側鹽釜側】

滿潮前一〇・〇五、午前二・五五　後一・二五

舊十月　新曜日

十一月　木曜

十二月　金曜

先負　大安

宿　佛滅

日廿一　日廿一

▲一白　我を助る人排する人あり中正を採るが無難▲二黑　不振の如く見ゆれどもつとめ次第にて發展す▲三碧　表面の景氣に浮れたつて身を亡ぼし易き日▲四綠　其の職に忠實なれば貧乏神も逃げ去るべし▲五黃　矢たらに計畫を立てよ祈願の平安を所願が勝▲六白　氣鋭みを生ずめ樣に勵めば何事も成べき日▲七赤　平運なれど遠き先を見越ての事は慎りの多し▲八白　不祥事は無れども心の落付かざる注意の日▲九紫　運氣一轉面目のあらたまる日新しき事業に吉し

白轉車とリヤカー

フタバ商會

新川町郵便局向

重田眼科
眼鏡檢定　一般
平駅前通り　元貯蓄銀行跡
醫師　重田景治
平市田町一番地

平市田町（電話五三一番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽潤
藥劑士　佐竹菊雄
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

故障の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察通り）
電話（呼出）166

夜診
胃腸病
性病
（見習看護婦募集）
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
病院
（平市南町電一〇七番）
療間

お醬油は……ヤマフル
醬屋
味噌醬油
たひら正宗
鰹節　食品料
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎